

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 久保谷 廠司
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



川奈の万灯^{まんどう}



伊東市の
継承される伝統文化

祭



富戸の神輿^{みこし}

今年も市内各地で秋祭りが行われました。
市内の秋祭りの一部を掲載します。

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 9月定例会の概要……………【P.2】
- 代表質問（6議員が登壇）……………【P.5】
- 一般質問（5議員が登壇）……………【P.8】
- 常任委員会だより……………【P.11】



平成21年10月24日^土→11月8日^日

伊東市では、郷土にゆかりのある木下李太郎先生や
北里柴三郎先生にちなんでイベントを実施します。

市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになります。（9月定例会会議録は、11月中旬発行・公開の予定です）
市議会の情報は、市のホームページアドレス <http://www.city.ito.shizuoka.jp/> からアクセスできます。

平成21年9月定例会

平成20年度

一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

9月定例会を9月2日から9月30日までの29日間の会期で開会しました。

平成20年度 決算概要説明 (要旨)

平成20年度一般会計当初予算は、長引く地価の下落や市民税の伸び悩みなどによって市税の減収が見込まれる中で、本市の健全財政の基礎を築いていくため「健康増進、観光振興、行財政改革」の三つのKのさらなる飛躍のための各種施策の展開を念頭に、サマーレビューの成果を反映させた予算編成に当たることとしました。

その結果、予算規模を二一三億一〇〇万円と、前年度を一・七%下回る堅実型の予算とし、小中学校施設耐震化事業や医療施設設置基金積立事業、緊急経済雇用対策事業などの本市独自の緊急経済対策に伴う増額補正等を行い、最終予算規模を二三億九五三五万七〇〇円としました。

執行に当たっては、限られた財源の有効活用を意を注ぎ、現場を大切にしながら、市民の立場に立った施



決算概要を述べる伊市長

策を展開する中で、「伊東再生」への歩みを確かなものにしたところであります。

一般会計の歳入決算では、自主財源に大きな比重を占める市税が、予算現額を〇・六%下回る決算となり、対前年度比では一・〇%減少し、依存財源では、地方交付税が一五・四%、県支出金が一四・四%増加したものの、市債が一五・一%、地方消費税交付金が一七・七%、地方譲与税が一三・三%、それぞれ減少し、決算額は二二億九七七八万七〇〇〇円で、対前年度比〇・三%の増となりました。

歳出決算では、経常経費における公債費が〇・八%増加しましたが、職員の各種手当の見直しや定員の適正化により、人件費が前年

度を一〇・〇%下回り、扶助費が一四・四%減少しました。

投資的経費では、普通建設事業費の補助事業費が、屈指はしご車購入事業などで対前年度比八・七%増加し、単独事業費では、川奈駅^(※2)ユニバーサルデザイン施設整備事業や伊豆高原校並木通り整備事業などの新規事業を実施したものの、都市計画道路路字佐美八幡中里線改良事業の完了などにより前年度を一一・一%下回り、普通建設事業費全体では、対前年度比で九・六%減少しました。

その他の経費では、後期高齢者医療特別会計への繰出金の皆増や下水道事業特別会計、介護保険事業特別会計に対する繰出金の増加、財政調整基金への積立金の増加などにより、全体では前年度を一一・〇%上回り、歳出決算額は二一億七三〇三万六〇〇〇円で、執行率九一・六%、対前年度比一・四%の減となりました。なお、歳入歳出差引額は

六億二〇八六一〇〇〇円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を一〇八・五%上回る五億一六七一万九〇〇〇円となりました。

病院事業会計では、収益的収支は、収入が三六億三四四万八〇〇〇円、支出が三六億一九八万五〇〇〇〇円で、当年度純利益は一四六万九四〇〇〇円となりました。資本的収支は、収入が一億八九三九万六〇〇〇円、支出が二億二六九七万七〇〇〇円で、収支差引き三七五八万一〇〇〇円の不足となりましたが、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

水道事業会計では、収益的収支は、収入が一七億九三九万一〇〇〇円、支出が一五億八八七万四〇〇〇円で、収支差引き二億五五八二万三〇〇〇円の当年度純利益を計上しました。資本的収支は、収入が三億九一四八万五〇〇〇円、支出が一億三三七一万七〇〇〇〇円で、八億四二二三

※1「サマーレビュー」：夏季期間中における事務事業の見直し作業 ※2「ユニバーサルデザイン」：年齢や障害の有無などにかかわらず、できるだけ多くの人が利用可能であるようなデザイン

平成20年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

区 分 会計別		歳 入		歳 出		審議 結果
		決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
一般会計		22,497,896,928	94.15	21,877,036,323	91.55	○
特別会計	下水道事業	2,403,020,714	97.64	2,399,434,543	97.50	◎
	競輪事業	14,904,356,823	94.23	15,405,504,814	97.40	◎
	国民健康保険事業	10,175,441,608	100.40	9,962,296,957	98.30	◎
	土地取得	62,316,051	97.67	62,276,262	97.61	○
	老人保健	656,685,855	96.26	656,685,855	96.26	◎
	霊園事業	90,314,688	99.78	90,213,698	99.67	◎
	介護保険事業	5,132,072,387	96.08	5,098,761,214	95.45	◎
	介護老人保健施設	39,376,941	99.94	39,228,478	99.56	◎
	後期高齢者医療	691,569,510	102.44	669,914,070	99.23	○
合 計		56,653,051,505	95.70	56,261,352,214	95.04	—

区 分 会計別			収 入		支 出		審議 結果
			決算額(円)	収入率 (%)	決算額(円)	執行率 (%)	
企業会計	病院事業	収益勘定	3,634,548,281	97.10	3,619,854,257	96.73	○
		資本勘定	189,396,402	99.75	226,977,325	99.79	
	水道事業	収益勘定	1,799,391,286	100.44	1,508,173,727	97.23	◎
		資本勘定	391,484,891	103.32	1,233,716,987	95.79	

万二〇〇〇円の不足となりましたが、損益勘定留保資金等で補てんしました。
本市の財政は、平成一五年度以降、財政健全化債や退職手当債の借り入れによって黒字を確保するという厳しい状況が続いています。が、「伊東再生」を最重要課題としたさまざまな改革への取り組みにより、財政調整基金や医療施設設置基金の確保、起債残高の圧縮など、財源確保に一定の前

進が図られるとともに、健全化判断比率や経常収支比率、実質収支比率などの財政指標からも、健全化の方向へ向かっているものと判断しています。
本決算の意義を真摯に受けとめ、これまでの改革の手を緩めることなく、「伊東再生」から新たに目標を高めた「伊東創造」をなし遂げるために、引き続き、最善の努力を傾注してまいります。

本会議で
行なった討論
(概要)

■平成二十一年度伊東市一般会計補正予算(第四号)

《反対》日本共産党

二〇〇七年五月に自・公政権によって強行可決された「日本国憲法の改正手続に関する法律」が、三年後の二〇一〇年五月に施行される。この法律は一般的な国民投票ではなく、憲法改正に限定された国民投票等を定めている。しかし、さきの総選挙で改憲派議員は大きく後退し、世界も平和的外交へ動きつつある。
日本共産党は、戦争放棄を基調とし、平和、人権、民主主義を豊かに保障する日本国憲法は、世界に誇る憲法であり、これを全力を尽くして擁護してきた。
この立場から、本法律に基づく、投票人名簿システム構築事業委託やこの事業への国からの交付金受け入れ等にかかわる、平成二一年度一般会計補正予算に反対する。

また、衛生費の医療施設

設置基金積立金を二億円追加補正して、平成二十一年度は四億円余の積み立てを行うとした。これは前年の平成二十年度に、退職手当債を六億円借り入れたこと

によってできた余剰金の一部であり、単に積立金をふやすのではなく、六億円もの借入額を減らすことや、財政難を理由に後回しになっている数多くの老朽化した公共施設の修繕費などに充て、経済対策として生かすなどを検討すべきであったと考へ、これを申し添える。

■平成二十一年度伊東市一般会計歳入歳出決算

《反対》日本共産党

本市独自の緊急経済対策や小学校低学年学級支援員の増員等は評価するが、定員適正化計画の目標を上回る職員数の削減は、行政サービスの下、職員の健康管理、臨時職員の増員等の問題が懸念されることから、必要な人員を的確に配置されるよう改善を求める。
また、ごみの有料化が実

施されたが、市内経済が大変な時期の実施は問題であり、市民とともに、ごみの減量運動を進めることが優先されるべきであった。

次に、健康保養地づくり事業において、温泉健康プログラム開発事業により、繰り返しマシンを使用している観光客は二名であるとの統計から、観光施策としての評価はできず、市民向けの施策として、活用しやすい形とすべきである。

さらに、マリントウンに足湯を建設したが、同施設の充実に伴う本市への誘客効果に係る検証が必要であり、門脇駐車場については、リピーターや、節約志向の観光客が多いことから、無料または低料金にすべきであった。

また、交通・防犯対策事業の元警察官に係る臨時職員賃金、県交通安全指導員負担金、県の事業とすべき伊東地区防犯協会に係る負担金の支出は認めたい。
以上の点から、決算の認定に反対する。

《賛成》民主党・刷新の会

平成一七年の小泉内閣の時代から、日本政府は、郵政改革や市町村合併など、多くの諸問題を抱え、平成二〇年度は、厳しい地方行政運営の中で、その厳しさを象徴するような時代であったが、本市は、一定の成果を得た無難な行政運営であったと考える。

平成二〇年度の決算を数年前と比較すると、財政的な余裕は感じるが、人件費の減少は、配置職員の削減によるものであり、適正配置という観点から、行政運営におけるサービスの低下が懸念される。

また、第四次伊東市総合計画に係る市民アンケートの回答者が一%弱であるが、多くの市民の声を行政に反映するためにも、実施方法を工夫すべきである。

観光部門に関しては、観光客のニーズを的確にとらえるためにも、基礎的な調査を行い、誘客を促進するなど、さらなる検討をお願いしたい。

また、本市の最重要課題の一つである新病院建設においては、事業費の縮減、一七診療科目の是非、医師等の確保等について、慎重に進めていただきたい。

幾つかの改善点を申し上げたが、これらへの対応を今後の課題にしていいただくことをお願いし、認定に賛成する。

《賛成》正風・興志会

厳しい財政状況の中、市長就任以来、「伊東再生」を最重要課題として掲げ、その実現のため、「市民に健康増進」「市に観光振興」「市役所に行財政改革」の三つのKの発展、充実に取り組み、財政再建と現場主義の視点で、市民の行政ニーズを的確にとらえ、トップセールスによる県等への積極的な働きかけがされ、「伊東創造」へ向かう決算が達成されたものと大きく評価する。

行財政改革による人件費等の改善、観光振興や商業振興等が図られたものの、一方で財政状況は依然厳し

く、また、不納欠損額や収入未済額は多額となっており、これらをいかに減少させるかが重要な課題である。

また、新病院建設を初めとした事業に多額の財源が必要とされることから、伊東創造への市政運営を行うためには、さらなる事務事業の見直しと収入未済額の徹底した徴収により、収入確保に努め、財源に裏打ちされた事業計画を策定すべきと考える。

今後、国の動向を注視しつつ、多様化する市民の行政ニーズに的確に対応し、市民目線に立った施策の展開により、市全体の活性化を図り、本市の将来都市像実現のため、改革の流れをとめることなく、限られた財源の中で最大の効果を上げるよう、さらなる努力を求め、認定に賛成する。



平成20年度一般会計歳入歳出決算採決

市議会9月定例会で審議した議案等

31件の議案等を審議、決定

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市報第5号	平成20年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率の「健全化判断比率」の報告及び病院事業会計、水道事業会計、下水道事業特別会計について「資金不足比率」の報告	市長	(報告、質疑のみ)
市議第17号	伊東市国民健康保険条例の一部を改正する条例	「産科医療補償制度に加入している医療機関等で出産した場合のみ3万円を超えない範囲内で、規則に定める額を加算する」との政令施行に伴う条例改正及び平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間の出産に係る出産育児一時金に4万円を加算することの改正	市長	全会一致で可決
市議第18号	消防緊急通信指令施設システム機器購入契約の締結について	消防通信指令システムの老朽化に伴い一部不具合が生じているため、更新を行うことの契約締結 契約金額：5,092万5,000円 契約の相手方：株式会社富士通ゼネラル	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第19号	湯川終末処理場受変電・発電設備改築工事請負契約の締結について	建築当初から35年以上経過し老朽化に伴う設備改築の契約締結 契約金額：3億3,600万円 契約の相手方：株式会社 東芝	市長	全会一致で可決
市議第20号	平成21年度伊東市一般会計補正予算（第4号）	法人市民税還付に係る償還金、参議院議員補欠選挙執行経費、母子家庭等総合支援事業経費、子育て支援事業経費、湯川保育園の指定管理者移行のための経費及び緊急雇用創出事業経費など、7億4,088万6,000円を追加する	市長	賛成多数で可決
市議第21号	平成21年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	条例改正に伴う出産一時金の増額、前年度の国県支出金の精算に伴う返還金の計上など、985万1,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市議第22号	平成21年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	前年度の国県支出金及び支払基金交付金の額が確定したことに伴う返還金の計上など、3,262万6,000円を追加する	市長	全会一致で可決
市認第5号 ～市認第16号	平成20年度伊東市一般会計歳入歳出決算、以下、9特別会計歳入歳出決算と2企業会計決算	※各決算の概要は、3ページの各会計決算の表を ごらんください。	市長	3ページの 各会計決算 の表を ごらん ください
市選第1号	教育委員会委員任命の同意について	田中智海氏（川奈）	市長	全会一致で 任命に同意
市選第2号	公平委員会委員選任の同意について	坂部正樹氏（八幡野）	市長	全会一致で 選任に同意
発選第4号	静岡県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	有効投票22票のうち、土屋源由議員13票、三好陽子議員9票、高林一文議員0票、滝口達也議員0票	議長	—
発選第5号	議会運営委員会委員の補欠選任について	稲葉正仁議員を選任	議長	全会一致で選任
発議第4号	議長辞職願について	楠田一男議長の辞職	議長	全会一致で許可
発議第5号	副議長辞職願について	宮崎雅薫副議長の辞職	議長	全会一致で許可
発選第8号	議長選挙	有効投票22票のうち、久保谷廠司議員13票、鈴木克政議員6票、佐藤美音議員3票で、久保谷廠司議員が当選	議長	—
発選第9号	副議長選挙	有効投票22票のうち、鳥居康子議員13票、浅田良弘議員6票、大島春之議員3票で、鳥居康子議員が当選	議長	—
発選第6号	常任委員会委員の選任について	※10ページを参照してください。	議長	—
発選第7号	議会運営委員会委員の選任について	※10ページを参照してください。	議長	—
発選第10号	議会改革特別委員会委員の補欠選任について	宮崎雅薫議員、楠田一男議員、稲葉正仁議員を選任	議長	全会一致で選任
発選第11号	医療問題特別委員会委員の補欠選任について	佐々木清議員を選任	議長	全会一致で選任

代 表 質 問

平成20年度 各会計予算及び市長の政治姿勢について
6議員が登壇

（登壇順に掲載）

就任以来提唱してきた三つのKのそれぞれの評価について伺う



民主党・刷新の会
伊東良平議員

市長就任以来、提唱してきた三つのK（健康・観光・改革）に関し、健康増進に関する市民向け事業の成果はどうであったか、また、市内経済が疲弊する中、いかなる方法で観光振興を図られたのか。行財政改革については、内部作業のため、判断は難しいが、それぞれの成果について伺う。

市長

健康増進は、水中運動教室等による健康への意識の向上、生活習慣の改善に効果を上げており、観光振興では、富士山静岡空港の開港にあわせ新しい旅行形態



3 Kに取り組む伊東市

- 元気のある地域づくり応援事業の成果について
- ごみ有料化に伴う減量の成果について等
- 清掃車庫用地の整備の見通しについて等
- 緊急経済対策について
- マリントアウンのウッドデッキ・足湯の開設による効果について
- 外郭団体等への市職員の転職について
- 新市民病院建設に関する諸問題について

平成二〇年度決算における 実質収支の改善について



正風・興志会
久保谷廠司 議員

平成二〇年度における実質収支は、五億一六七一九〇〇〇円となり、ここ一〇年間の懸案であった収支決算を大きく改善する結果となった。

この収支決算の状況こそ、「伊東再生」の実現を端的にあらわしていると考えますが、実質収支の改善はどのように果たされたのか。

人件費の見直し、実質収支改善の理由の一つである

市長

歳入が五六〇〇万円余り増加するとともに、歳出が三億一〇〇〇万円以上減少したことにより、実質収支が改善されたが、その理由の一つとして、市長就任以来、「伊東再生」の最重要

課題として、職員の理解を得ながら進めてきた人件費見直しの効果があらわれたものと考えている。

『その他の質問項目』

- 市税の徴収対策及び静岡地方税滞納整理機構への移管状況について
- 人件費削減の取り組みと今後の方策について
- 財政調整基金等の増額の展望について
- 競輪事業特別会計の改善策と収益事業としての展望について
- 新病院建設等が健全化判断比率に及ばず影響について
- 平成二〇年度決算を踏まえた今後の市長の政治姿勢について



市庁舎から市街地を望む

広報公聴事業に係るメールマガジンについて



清峰クラブ
井戸清司 議員

ホームページのリニューアルの際、QRコードによる情報発信を始めたが、それについて、どの程度の経費がかかっているのか。

また、メールマガジンに係る、登録員数と発信回数、今後の有効的な利活用についての考えを伺う。

今後は、観光情報を中心に、内容の充実を検討していく

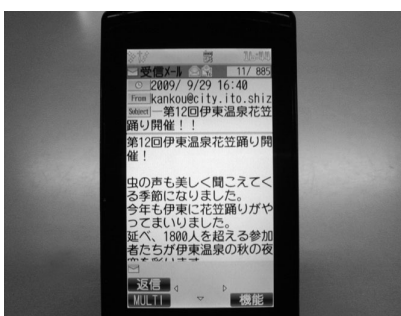
市長

メールマガジンについては、「IZUのいう情報便」のほか、「同報情報」など五種類の分野で構成され、月額七万円弱を要しており、登録者数は、本年八月末現在で延べ四七一八件、本年度の配信回数は二四六回になっている。

現在のところ、同報無線情報などの緊急的な情報が多いが、今年度から配信を始めた「小室山つつじ祭り」や「按針祭」などの観光情報が直前情報として好評を得ていることから、今後は、観光情報を中心とした内容の充実を検討していく。

『その他の質問項目』

- 人件費の減少要因と今後の推移
- 生活保護費の減少要因と今後の推移
- 元気のある地域応援事業の補助内容と、今後も継続していくのか
- 伊東マリントアウンに係る費用対効果とプロムナード整備について



メールマガジン

下水道使用料改定への検討はどのように進められていくのか



公明党
鳥居康子議員

中期経営計画では、接続率の向上と、使用料改定の検討を始めることとされている。前回の料金改定から約一〇年経過している点や、県下で一番低い基本料金であるという理由があるにせよ、使用料を改定したとしても大きな経営改善にはつながらないと考える。必要性和検討方法について伺う。

適正な使用料を算定し、改定に向けた作業を実施していく

市長

将来にわたる起債残高や今後の中長期に向けた安定的な健全経営を見据えると、近い将来、使用料を改定することやむを得ないもの

と考えている。

このため、現在の経営状況を精査し、適正な使用料を算定し、改定に向けた作業を実施していきたい。

『その他の質問項目』

■平成二〇年度決算について伺う

- ・最重要課題「伊東再生」の成果について
- ・市債の決算状況と、今後の見通しについて
- ・財政調整基金と医療施設設置基金の今後の推移について
- ・市税の不納欠損額の今後の動向について
- ・※4 エリアブランディング事業など観光諸施策の成果について
- ・新たな産業の誘導や育成について



湯川終末処理場

ごみ有料化による市民生活への影響等について



日本共産党
大島春之議員

税の二重取りとも言えるごみ有料化が市民生活に及ぼした影響をどうとらえているか伺う。

また、有料化前後のごみ量の推移、さらには、焼却ごみの減量に努めるため、今後、どのような対策を考えているか伺う。

減量化の取り組みが成果を上げている

市長

市民や事業者のご理解、ご協力により、有料化事業が順調に実施されており、ごみ処理に対する意識の向上が図られ、昨年一二月から本年三月までの可燃ごみの量は、前年度比一五％程度減少しており、市民や事業者の創意工夫によるごみ

減量化の取り組みが成果を上げていると考えている。

今後は、リバウンドの防止に努めるとともに、ペットボトル等の収集・処理に対する検討を行うなど、さらなる分別収集を進め、ごみの減量化、再資源化に積極的に取り組んでいきたいと考えている。

『その他の質問項目』

■平成二〇年度決算から

- ・人件費減額の要因及び職員数減による影響について
- ・エリアブランディング事業等について
- ・「健脳健身」事業の見直しや再検討について
- ・特定健診の実施状況及び市民の健康増進の課題について



ごみ収集作業

公共ヘリポートの整備状況及び今後の増設計画について伺う



輝21
稲葉正仁議員

本年八月一日の駿河湾を震源とする地震により、JR伊東線が運休し、国道一三五号は大渋滞となった。本市につながる主要道路の脆弱さ、災害時等の緊急搬送用ヘリポートの重要性については、再三訴えてきたところである。

市長は、市民や観光客の安心・安全のために、富戸栗ノ木平の市有地にヘリポートを整備したが、他の箇所への今後の増設計画について伺う。

ドクターヘリ等の利用状況を見ながら、引き続き調査研究を行っていく

市長

公共ヘリポートの整備に

※4「エリアブランディング事業」：地域特性を生かした個別の観光資源を磨くことで、さらなる誘客手段を構築する事業

については、平成一九年度から二力年かけて、亀石地区、新井地区、池地区、栗ノ木平地区の四力所の調査を行い、その中で、最適地とされた栗ノ木平に今年度、ドクターヘリ等緊急用のヘリポートである場外離着陸場を整備することとし、八月に完成したところである。

今後の増設については、救急医療や防災的活用など、さまざまな利用形態があるので、ドクターヘリ等の利用状況を見ながら、引き続き調査研究を行っていく。

『その他の質問項目』

■市内中小企業への金融支援策による効果、さらなる景気浮揚対策について
伺う

■有料化によるごみの減量など、その効果について



栗ノ木平ヘリポート

一 般 質 問

5議員が登壇／市政全般について質問

(登壇順に掲載)

新市民病院の実施設計に関する諸問題について



民主党・刷新の会
四宮和彦議員

新市民病院の実施設計に関し、完成までの今後の予定について、また、基本設計に対する修正箇所、修正に伴う建設コストの削減見込みについて伺う。

さらに、実施設計には、指定管理者の専門的な意見を反映させることが必要と考えるが、いかがか。また、指定管理者の選定方法は、公募とするのか、これまでの実績等を踏まえた現管理者の特定とするのか。

実施設計には、指定管理者の関与も必要と考えるので、選定作業を早めたい

市長

実施設計については、六月に委託契約を締結し、年度末の完成を目指し、作業

を進めているところである。修正については、現場職員の意見を参考に各部門の見直しを実施しており、必要の低い医療機能の取りやめ、工法、材料等の検討とともに、既製品の使用によるコスト削減を図りたい。

指定管理者の選定については、医療スタッフの計画的な確保や、高度な医療提供を担保するためには、実施設計の段階からの管理者の関与は必要と考えており、早期に選定作業を進めたい。

『その他の質問項目』

■分譲地における諸問題に対する対応策について

■市営住宅の現状と今後の政策について

■夜間救急センターの道路案内表示について



建設計画が進められる新病院

市民にも観光客にも利用可能な健康づくりマップの作成について



清峰クラブ
佐々木 清議員

健康保養地づくり事業の一環として、市職員が作成した市内散策の手づくりマップはできがよく、大変評価している。

そこで、観光関係者とタイアップし、消費カロリーを表示するなど、より充実した内容とすることで、市民と観光客が利用可能な「健康づくりマップ」として生まれ変われると期待するが、いかがか。

健康リゾートマップ作成の可能性について研究したい

市長

消費カロリーを記載した新感覚の観光地図の作成については、健康志向が高まる中、市民はもとより誘客



健康づくりのためのウォーキングマップ

にも有効であると考えるが、消費カロリーは年齢や体重等の違いにより個人差があるため、表示を含め健康リゾートマップの作成が可能かどうか研究したい

『その他の質問項目』

■伊東ブランドの推進について

- ・観光地伊東の魅力づくり
- ・第一次産業の魅力づくり
- ・別荘等への定住人口増加策について

■健康保養地づくり推進市民会議の常設について

■新型インフルエンザ対策

- ・安心して来遊客を迎入れる体制について
- ・高齢者施設等の予防対策と情報一元化について

「伊東・大島航路」の再開の見通しについて



正風・興志会
土屋 進議員

平成一七年三月をもって、東海汽船が「伊東・大島航路」を休止したが、再開の見通しを伺うとともに、再開後の運航継続に向け、観光関連諸団体と行政が一体となって、誘客のための商品化などに取り組むべきであると考えことから、観光誘客施策について伺う。

来年の伊豆大島つばき祭りの期間中運航の予定であるが、通年の運航を要望する市長

平成二二年二月から三月にかけての伊豆大島つばき祭りの期間中、同航路にジェットフォイルを運航する予定であるが、東海汽船に対し、通年運航に向け、強く要望していきたい。



東海汽船のジェットフォイル

また、同航路の利用促進のため、小室山のツバキや早咲きの桜等、花を主体にした誘客対策を考えていく。

『その他の質問項目』

■伊東八景（大室山、小室山、城ヶ崎海岸、松川湖、夕吹、一碧湖、オレンジビーチ、巢雲山）の活用に係るPRと整備等

■斎場の整備と拡張計画

■新市民病院建設における、温泉を利用したリハビリ用プールの設置計画と現病院の跡地利用に係る検討会議の設置について

■伊東市が所有する公共建築物耐震化計画について

■耐震診断が「未診断」の東松原連絡所のある庁舎別館に係る考えと、「代替」とする西小学校屋内運動場に係る計画

本市における新型インフルエンザ対策について



民主党・刷新の会
浅田良弘議員

本市では、本年五月に、「新型インフルエンザ対策行動計画」、「業務継続計画」が策定され、消防においては、「消防署対応体制」編が改訂された。消防には、新型インフルエンザの対応だけでなく、通常の消防・救急業務等があるが、救急体制及び医療機関との連携について伺う。

また、集団感染を防ぐための公共施設の予防策、観光を基盤とする本市の観光地対策について伺う。

関係機関と連携を図り感染防止対策をしていく

市長

新型インフルエンザが疑われる場合は、感染防護服を着用し救急搬送を行い、

伊東市医師会と連携を図りながら対応していく。市民病院では、発熱外来用プレハブ診療室を整備し、感染患者用個室を改修整備する。

集団感染防止については、咳エチケットなどを励行するよう周知に努め、観光地対策としては、関連団体、感染拡大防止の呼びかけを行い、イベントの延期や中止などを広報するとともに、市ホームページ等で周知したい。また、関連団体との協力体制を整え、安全なまちづくりに努めていく。

『その他の質問項目』

■中学校給食実現に向けた方向性について

■新病院建設に伴い、現在の市民病院の跡地に多目的施設などを設置し、有効活用してはどうか。



予防パンフレット

阿久悠氏の功績を顕彰し、
観光や文化に生かす取り
組みを考えるべきでは



日本共産党
佐藤美音議員

阿久悠氏は、五〇〇〇曲に及ぶ作詞を手がけ、日本レコード大賞を五度も受賞し、数多くのヒット曲を生み出した昭和の偉大な作詞家であり、作家でもある。

友人の兄が設計したすてきな伊東の家に、人生で最も長く居住された阿久悠氏。その伊東市で、業績を顕彰し、文化や観光などに生かす取り組みを考えるべきだと考えるがいかがか。

阿久悠氏の偉業をたたえるための方策について検討していく

市長

阿久悠氏の一周忌に当たる昨年の八月には、宇佐美コミュニティセンターにお

いて、阿久悠氏をしのぶ追善展示会が開催された。

また、宇佐美区や有志の方々が中心となり、本年八月、市制施行五〇周年記念事業として本市に寄贈された「蜜柑と魚と」の歌碑を宇佐美中央通りポケットパーク内に建立した。

市としても阿久悠氏の偉業をたたえるため、積極的に支援をしているが、財産の所有権や著作権の問題もあり、広く全国的に名をはせた同氏の功績を観光や文化に生かす方策については、関係者と協議・検討する必要があると考えている。

『その他の質問項目』

■新病院建設に関し、指定管理者の選定方法、実施設計における施設内容の見直し及びスタッフの確保について伺う



阿久悠氏邸

議会内の異動

●九月七日

「自民輝21」から「輝21」に会派名が変更され、あわせて、稲葉富士憲議員が新たに清峰クラブから加入しました。

清峰クラブでは会派代表を佐々木清議員に変更しました。

●九月三〇日

正風・興志会は、宮崎雅薫議員に、公明党は楠田一男議員に会派代表をそれぞれ変更しました。

正副議長選挙

正副議長から辞職願が提出され、九月三〇日の最終本会議において選挙を行い、議長に久保谷廠司議員、副議長に鳥居康子議員を選出しました。



第62代副議長
鳥居康子議員



第67代議長
久保谷廠司議員

常任委員会・議会運営委員会委員の改選、特別委員会委員の異動に伴う新委員会構成

常任総務委員会

委員長 土屋 進（正） 副委員長 井戸清司（清）
委 員 伊東良平（民） 竹田昭直（民） 楠田一男（公） 佐藤美音（共） 稲葉正仁（輝）

常任観光建設委員会

委員長 浅田良弘（民） 副委員長 佐々木清（清）
委 員 横沢 勇（民） 西島 彰（正） 大島春之（共） 三枝誠次（輝）

常任福祉文教委員会

委員長 宮崎雅薫（正） 副委員長 重岡秀子（共）
委 員 鈴木克政（民） 四宮和彦（民） 榎本元彦（清） 佐藤一夫（公） 稲葉富士憲（輝）

議会運営委員会

委員長 伊東良平（民） 副委員長 土屋 進（正）
委 員 浅田良弘（民） 佐々木清（清） 楠田一男（公） 大島春之（共） 稲葉正仁（輝）

議会改革特別委員会

委員長 佐藤美音（共） 副委員長 竹田昭直（民）
委 員 浅田良弘（民） 四宮和彦（民） 宮崎雅薫（正） 西島 彰（正）
井戸清司（清） 楠田一男（公） 三枝誠次（輝） 稲葉正仁（輝）

医療問題特別委員会

委員長 大島春之（共） 副委員長 稲葉富士憲（輝）
委 員 伊東良平（民） 鈴木克政（民） 横沢 勇（民） 土屋 進（正） 榎本元彦（清）
佐々木清（清） 佐藤一夫（公） 重岡秀子（共）

※久保谷廠司議長（正）、鳥居康子副議長（公）は、それぞれ総務委員、観光建設委員に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。

会派略名：（民）民主党・刷新の会（正）正風・興志会（清）清峰クラブ（公）公明党（共）日本共産党（輝）輝21

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

- ◆詳細は、市議会会議録の委員会審査報告をごらんください。
- ◆市議会会議録は、市役所、図書館、各コミュニティセンターにあるほか、ホームページでもごらんになれます。

総務委員会

問

ごみ袋について、小袋の要望があることから、その販売に取り組む必要があると考えるが、どうか。

答

平成20年9月からごみ袋の販売を開始したが、当初に比較し20ℓのごみ袋が減少傾向にあることから、その推移を注視しながら、小袋の販売について検討していきたい。

問

消防水利に関し、現在十分な水利が確保されているか、また、新興住宅地における水利確保について、さらに、消火栓点検の実施状況を伺う。

答

消防水利の基準に基づき設置しており、市全体の充足率は77.2%で、新興住宅地に関しては、道路や水道管の整備にあわせ設置している状況であり、点検については1年に1回、市街地は2回実施している。



消防水利（防火水槽）

観光建設委員会

問

自然歴史案内人養成事業の成果について伺う。

答

今年度当初において67人の案内人が伊東観光番を拠点に活動しており、観光案内業務はもとより、フジとアジサイの観賞会、ほたる鑑賞会、星空見学、もみじ観賞、七福神めぐりなど、本市の魅力を伝える着地型旅行商品「伊東温泉楽々さんぽの四季遊び」を東海自動車と連携して開発し、その運営に協力している。



ゆったり湯めまちウォーク

問

個人が引き込んでいる給水管の修繕について伺う。

答

メーターまでの応急的な修繕は、1回程度を市負担において実施し、この修繕の際、持ち主に管の老朽状況を見ていただき、全体の管の取りかえを促す事業を実施している。

福祉文教委員会

問

夜間救急医療センターの利用状況や二次救急以降への搬送状況について伺う。

答

市立夜間救急医療センターの患者数は平成20年度、4,236人である。

そのうち二次救急搬送等は4.5%で、入院が必要となると診断された場合は市民病院、より重篤な場合は直接順天堂へ搬送し、必要に応じ広域圏の三次救急病院へ搬送しており、これらの病院とも十分な連携が図られていると考える。



市立夜間救急医療センター

問

小学校における定期健康診断及び生活習慣病検査の実施状況について伺う。

答

定期健康診断については、毎年6月までに実施しており、体格はほぼ県平均、虫歯については改善しているが、視力が悪化している。

また、生活習慣病検査については、市として独自に実施している。

※5「着地型旅行商品」：地域資源を活用し、地域が主導となって企画した旅行商品



耐震補強事業を実施する南小体育館

平成21年度伊東市一般会計補正予算（第3号）

- ①緊急経済雇用対策を含む雇用創出対策事業
- ②低燃費車・省エネ製品等、地域医療・医療新技術、子育て・教育支援等に係る未来への投資
- ③地域活性化、防災・安全対策等の「安心と活力」の実現

などに5億5,216万3,000円を追加し、予算総額を217億3,622万1,000円とする。

臨時会の概要

七月二十九日、市議会臨時会を開会し、緊急経済対策に係る国の予算補正を受け、一般会計補正予算を全会一致で可決しました。

特別委員会中間報告

議会閉会中の委員会活動状況を報告します。



議会改革特別委員会

議員政治倫理条例の制定を協議

七月二一日に委員会を開催し、前回に引き続き、委員からの提起事項である議員倫理条例等の制定に関する協議を行った。

市長を初め特別職も対象にすることが前提との意見を主張する会派の委員から、「重大な案件であることを踏まえ、制定に向けた検討段階において、当局に申し入れを行い、対応を確認した上で判断したい」との主張が繰り返された。本特別委員会としては議員政治倫理条例を制定すべしとの意見が大勢を占めたものの、今回の委員会においても結論を出すに至らなかった。

今後、当該会派の正副委員長案に対する対応により、制定に向けた協議を引き続き行うのか、別の協議事項に入るのか、正副委員長が決定することが確認された。

医療問題特別委員会

基本設計に関する協議及び現市民病院スタッフとの懇談会を開催

七月六日に委員会を開催し、基本設計に関する協議を前回に引き続き行った。

指定管理者に関する論議が中心に展開され、当局からは、現管理者の地域医療振興協会を再度指定することを前提に進めたいとの意向が示された。また、南伊豆の湊病院の指定管理者の選定に係る諸問題を踏まえた本市の対応や建設コストの削減に関する論議等がされた。

なお、今後の委員会運営の参考に資するため、現市民病院スタッフとの懇談会を八月六日に市民病院において開催し、管理者、病院長等の出席をいただき、ヘリポートの必要性、集中治療室のあり方、一七診療科目の必要性及び医師、看護師の確保等について活発な意見交換がされた。

12月定例会の予定

（いずれも午前10時から始まります。）

11月	27日	開会・本会議（議案審議）
	3・4・7日	本会議（一般質問）
	8日	本会議（議案審議）
12月	10日	常任観光建設委員会 常任福祉文教委員会
	11日	常任総務委員会
	16日	本会議（最終日）・閉会

※11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。

編集後記

秋も深まる中、今年も市内各地で盛大に秋祭りが実施され、山車、仮装、みこし、万灯など、伊東市の古きよき伝統が、脈々と継承されていると実感しました。

市議会では、新正副議長を迎え、市民の負託にこたえるため、さらなる努力を続けていきたいと思えます。

最後に、担ぎ手の皆さん、祭典にかかわった皆さん、大変お疲れさまでした。

（委員長）

議会報編集委員会

委員長 重岡 秀子
副委員長 稲葉富士憲
委員 西島 彰
" 榎本 元彦
" 楠田 一男

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

伊東市大原二丁目一番一号

TEL（三三）一九八一

FAX（三八）六九一六

次回一二月定例会は

一一月二七日開会予定です